

四谷の

千枚田だより



第204号

昔から、この村に連綿と伝承（継承）されてきた。

ここでは、

念仏踊り

はねこみ 市指定無形民俗文化財

私達の村には正月と並んで日本民族の二大祖霊祭ともいわれる行事「念仏踊り」が継承されている。

念仏踊りの源流は、鎌倉時代から室町時代にかけて遊行僧によって巻き起こった信仰の民族的念仏踊り（大念仏）がルーツと云われている。この「念仏踊り」は、いく百年の



松灯し



道行



はね込み



念仏

八月十四日に行われた身平橋（西組共進連）の念仏踊りを紹介する。

夕闇が迫ると、若い衆は、まず「拍子揃い」を行い、入り庭に入る、行列は、高張を先頭に中老衆・笛・太鼓・鉦を奏でながら「道行き」を二回、「輪づくり」を三回、そしてはね込みと続く。はね込みの始めは「とささぎ」で五回、次に「四つ拍子」五回、「岡崎」三回を跳ねる。

入り庭のはね込みが終わると、中老衆による先祖様の供養、南無阿弥陀仏を繰り返す「四編念仏」を申す。念仏は初盆の庭受けで例えると亡くなられた方の年齢、性別、格式などで地言（回向）がそれぞれ違う。

続いて中老衆による「取り唄」ではね込みが行われ、再び「はね込み」を行った後、「手踊り」が始まる。この手踊りは若い衆の音頭だし、地唄で「おっ様甚句」や「やんさ」「ちよいなちよいな」など数多く踊られ、昔は夜明かし音頭といって、朝までも踊ったものだ。手踊りの最後は「数え唄」で締め、

再び「大拍子」を三回、「とささぎ」三回、「四つ拍子」も三回、そして「しやんぎり」を五回跳ね込む。このしやんぎりにはね込みの中でも一番激しく、華麗だ。はね込む太鼓、笛、鉦を打ち鳴らす若い衆も、観る者も感涙に咽ぶクライマックスシーンだ。そして「出の岡崎」を二回で輪づくりをして、高張りを先頭に引き庭に入り、道行きを二回続けて引き下がり、念仏踊りは終わる。引き庭で奏でる笛・太鼓・鉦の音が山々に木魂す様は夏の終わりを告げ、千枚田に豊作の秋を知らせる一区切りでもある。

千枚田空前の賑わい

新型コロナウイルスの感染が拡大し、帰省や遠出を見合わせる動きが広がる中、阿寺の七滝、乳岩峡など自然満載の観光地では例年のお盆休みの期間中と比べて観光客がやたらと多いと聞く。



四谷の千枚田もコロナ回避族が急激に増え、平日でも賑わうし、土日や連休には県道にも数珠繋ぎの状態で集落の住民への妨げも大きい、「来る者んはしよんない、奴ら、行く所がないだで…」と、この住民は寛大だ。八王子から訪れた

という家族は「なるべく人がいないところに行こう」と思い、訪れた。実際に来てみたら人が多くてビックリした。すぐく整備された田んぼと生きものの多さ、沢水の音に癒され、来てよかった」と話していた。

(十二日、推定二千人)
とんでもない暑さ

関東甲信地方では今年七月から十月第四水曜日までを対象期間に、暑さ指数(WBGT)が三十三℃以上と予測される場合に、環境省と気象庁が共同で「熱中症警戒アラート試行」を発表し、熱中症の警戒を呼び掛ける。愛知県も独自に警戒アラートを発令することし、八月十一日、十三日連続二日発令、以降、二十二日まで毎日発令された。

思い起こせば、昭和四十年代にゴキブリを初見、都市では熱帯夜があるそうだがナ…と、高を括っていたが、今では当たり前になってしまった。それにしても、暑い…

グッドプラクティスに選定

あいち・なごや生物多様性ベストプラクティスへ応募した(取組)自然環境保持・環境学習・生きものと共生したコメづくり)結果、鞍掛山麓千枚田保存会はグッドプラクティスに選定されました。

お聖様

千枚田のある四谷集落の大林寺の境内に聖様を祀ったお堂がある。昔、ある旅僧が重い病気を患い、村人は気の毒に思い、松林の中に庵を建て、親切に看病を施した。この旅僧は学識・教養も優れ、子どもや村人に全国各地の話を聞かせたり、教えを説いたりして村人から喜ばれた。静養を続けていた聖様も病気が急変、駆け付けた村人に「ご親切を心からありがたく思っている。私が死んでも魂はこの村に残ってむらの繁栄と人々の病気を治して上げ。病気になったら私の名を三べ



ん呼んでください。そして病気が治ったら、私の大好きな松毬を歳の数だけお供え下さい。私はあの世から、この村の皆さんをお救いします。」と言いながら静かに息を引取った。この、あらたかな霊験の噂を聞き、近隣から願掛けやお札参りに来る人々で賑わい、お墓も松毬で埋まるほどであったと云う。

私たち、子供の頃には聖様を「おせいさま」と呼び、よく遊んだ覚えがある。また、遠くから瘡(かさ)治療の願掛けやお札に訪れ、格子戸には絶え間なく松毬が奉られていたし、今でもその名残はある。

石灯籠には寛政五年大代村、大林村、身平橋村、真菰村とあることから、今を去ること二百二十余年も前のことであって、令和の時代を持つても、こうした伝承信仰が静かに根付いていることや、お堂をリニューアルオープンする村人の力量の豊さがうかがわれ、素直に嬉しい。

今後の予定

- ・ 鳳来寺小学校の稲刈り
- ・ 九月十日、豊橋調理製菓専門学校
の稲刈り

行 令和二年九月一日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二